

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2003年（平成15年）10月15日号 No. 1275

目次

●ロシア極東の玄関口、ウラジオストクとナホトカの現状.....	芳地 隆之 1
●キーパーソン	6
ロシア鉄道相にはモロゾフ第一次官が昇格／6	
●エトセトラ	6
『調査月報』10月号のお知らせ／6	
講演会「ロシアおよび極東ロシアにおける林業・木材加工業の現状」／7	
ムーディーズがロシアを格上げ／7	
政府の汚職度に関する国際比較／7	
ウズベキスタンが為替自由化を発表／8	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	9
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	9

ロシア極東の玄関口、ウラジオストクとナホトカの現状

はじめに

本年9月末から10月初めにかけてウラジオストクとナホトカを訪問し、地方行政府、研究機関、港湾センターなどでヒヤリングをする機会を得た。沿海地方の中心、ウラジオストクは同地方の南東部、日本海に突出するムラヴィヨフ＝アムールスキー半島に位置するロシア極東最大の都市である。新潟市からの直線距離は800kmと日本から最も近いロシアの都市である同市は、1952年以降、太平洋艦隊の母港という軍事的理由から閉鎖都市になっていた。しかし、1989年にはソ連市民に、1992年には外国人にも開放され、現在はハバロフスク市と並ぶロシア極東ビジネスの拠点になりつつある。また、沿海地方第2の都市であるナホトカは極東最大の貿易港を有し、ここ数年、太平洋石油パイプライン計画の出口候補地として関係各国からの注目を集めている。そこで本リポートでは、両市の現状、ならびに将来の太平洋パイプラインの出口港に関する現地の議論について報告する。なお、今回の訪問では在ウラジオストク日本国総領事館の齋藤大輔専門調査員より、現地の事情について様々な教示をいただいた。ここで紹介するデータの多くは同専門調査員提供の資料に拠っている。